

平成 21 年度第 3 回常務理事会（通信会議）議事録

日 時：平成 21 年 7 月 17 日（金）～7 月 31 日（金）

参加者：

理事長：吉村 泰典

副理事長：落合 和徳、和氣 徳夫

理事：岩下 光利、岡井 崇、嘉村 敏治、吉川 史隆、小西 郁生、櫻木 範明、吉川 裕之

監事：岡村 州博、星 和彦、丸尾 猛

第 64 回学術集会長：平松 祐司

幹事長：矢野 哲

幹事：内田 聡子、梶山 広明、北澤 正文、小林 陽一、榊原 秀也、高倉 聡、橋口 和生、

濱田 洋実、阪埜 浩司、平田 修司、堀 大蔵、増山 寿、渡部 洋

総会議長：松岡幸一郎

総会副議長：清水 幸子

理事会内委員会委員長：竹下 俊行

専門委員会委員長：齋藤 滋

事務局：荒木 信一

資 料

第 3 回常務理事会通信会議内容

協議 1：第 2 回常務理事会議事録（案）

協議 2：遺伝子組換えヒト卵胞刺激ホルモン（FSH）製剤ホリトロピンアルファ（市販名：ゴナールエフ）の自己注射に関する要望書

協議 3：日本輸血・細胞治療学会「学会（合同）認定臨床輸血看護師（仮称）に関する合同委員会について（依頼）」

協議 4：NPO 法人 Fine「ご後援のお願い」

協議 5-1：妊婦もしくは褥婦に対しての新型インフルエンザ感染（H1N1）に対する対応 Q&A（医療関係者対象）

協議 5-2：妊娠している婦人もしくは授乳中の婦人に対しての新型インフルエンザ（H1N1）感染に対する対応 Q&A（一般の方対象）

協議 5-3:Department of Health UK「Pandemic influenza Recommendations on the use of antiviral medicines for pregnant women, women who are breastfeeding and children under the age of one year」

協議 5-4:英国保健省「妊婦、授乳婦、1 歳未満児のための抗ウイルス薬使用に関する推奨-概要仮訳-」

協議 5-5:事務連絡フロー図

総務 1：新公益法人制度における全国申請状況

総務 2：7 月 9 日 文部科学省 実地検査結果報告の件

総務 3：文部科学省「臨床研究に関する倫理指針質疑応答集（Q&A）の改正について（通知）」

総務 4：厚生労働省「新鮮凍結血漿の適正使用の推進について」

総務 5：日本医師会「『平成 21 年度女子医学生、研修医等をサポートするための会』の開催について（依頼）」

総務 6：医療安全全国共同行動推進会議「医療安全全国共同行動への参加のお願い」

社保 1：厚生労働省「医療上の必要性が高い未承認の医薬品又は適応の開発の要望に関する意見募集について」

専門医制度 1：日本専門医制評価・認定機構「厚生労働省専門医制度推進支援事業ワーキンググループのメンバーについて」

広報1：JSOG-JOBNET 事業報告

広報2：ACOG Website 会員専用ページログイン可能人数について

広報3：JSOG ホームページアクセス状況

医療改革1：日経新聞7月8日付記事「お産の安心 揺らぐ都政」

男女共同参画1：地方部会担当公開講座一覧

男女共同参画2：厚生労働科学研究費補助金特別研究事業分担研究者「パンフレットの送付について」

無番：Anetis 5号

吉村理事長から平成21年7月16日付各役員、学術集会長、議長団、幹事団、委員長宛書面にて、平成21年度第3回常務理事会を7月17日から7月31日迄を期間として、通信にて行う旨の案内状と通信会議次第(協議事項、報告事項)及び関連資料が送付された。予定通り7月17日に通信会議が開始され、理事長、副理事長、常務理事の総数11名のうち10名(星合常務理事欠席)が参加した。吉村理事長が議長となり、議事録署名人として、理事長及び副理事長の計3名が選任された。

I. 協議事項

協議1：平成21年度第2回常務理事会議事録(案)の確認 [資料：協議1]

原案通り、特に異議なく、全会一致で承認した。

協議2：生殖・内分泌委員会より「遺伝子組換えヒト卵胞刺激ホルモン(FSH)製剤ホリトロピンアルファ(市販名：ゴナールエフ)の自己注射に関する要望書」に関する提案について[資料：協議2]

落合副理事長より「要望書提出は可とする。なお、厚生労働省関連のみならず、日本医師会長宛にも提出頂きたい」との意見が示された。

特に異議なく、要望書の提出を、全会一致で承認した。

協議3：日本輸血・細胞治療学会より学会認定臨床輸血看護師(仮称)に関する本会、日本外科学会等から成る横断的な合同委員会を立ち上げるに当たり、趣旨に賛同の上、委員1名の派遣方依頼があった。[資料：協議3]

委員として3名の候補者が推挙されたこと、また、理事長若しくは総務に一任するとの意見が多数を占めたことから、吉村理事長、岩下総務担当常務理事及び矢野幹事長との協議の結果、推挙された3名のうち、国立成育医療センター久保隆彦先生を推薦することとした。その後、ご本人の同意を得られたため、日本輸血・細胞治療学会に久保隆彦先生を推薦した。

協議4：NPO法人Fine(ファイン)～現在・過去・未来の不妊体験者を支援する会～より「Fine祭り2009 そここが知りたい!不妊」(開催日：11月3日、会場：日経ホール/東京都)の後援名義使用許可についての依頼書を受領した(7月10日)。[資料：協議4]

星監事より反対の意見が示されたが、他の参加者は承認するとの意見であった。吉村理事長、岩下総務担当常務理事及び矢野幹事長との協議の結果、後援を、承認することとした。

協議5：(1)本学会は、6月19日付厚生労働省の新型インフルエンザの指針改定に伴い、本学会作成の妊娠もしくは褥婦への対応Q&Aを改定した。しかしながら、英国保健省が妊婦・1歳未満の新型インフルエンザ患者に対する抗インフルエンザ薬の治療投与及び予防投与のガイドラインを公開したことに伴い、厚生労働省から本学会のQ&Aについて再度見直しの検討依頼があった。

については、英国保健省のガイドラインに対応し、周産期委員会齋藤滋委員長と産科ガイドライン作成委員会水上尚典委員長がQ&A(一般の方対象、医療関係者対象)に赤字加筆(赤字が齋藤委員長加筆、赤字下線が水上委員長加筆)したが、当該改定案を以って本学会から厚生労働省へ報告したい。[資料：協議5-1～5]

特に異議なく、全会一致で承認した。

(2) 妊婦の新型インフルエンザ対策に関して、厚生労働省、本会及び医会等で委員会を構成し、8月末までを目途に指針を策定することとなった。本会から全体メンバーとして周産期委員会齋藤滋委員長、ガイドライン産科編委員会水上尚典委員長、岩下光利常務理事、矢野哲幹事長、実務者ワーキングメンバーに澤倫太郎副幹事長、濱田洋実幹事を推薦したい。

特に異議なく、全会一致で承認した。

II. 業務担当常務理事報告

1) 総務 (岩下光利理事)

〔I. 本会関係〕

(1) 会員の動向

特になし

(2) 某大学教員組合執行部から5月29日付で会員の経歴詐称に関する書信を受領し、当該会員に事実確認した。当該会員から6月15日付で回答があったが、再度、同教員組合執行部から6月30日付書信を受領し、当該会員に再照会中である。回答を受領した上で対処したい。

(3) 生殖・内分泌委員会

①HRT ガイドライン頒布状況について

7月14日現在、入金済2,394冊、校費支払のため後払希望34冊、購入依頼20冊

(4) 新公益法人制度における全国申請状況及び関連記事について [資料：総務1]

なお、公益社団法人移行認定申請書の最終版案を公益認定等委員会事務局に事前送付しており、早ければ8月中にも正式申請に至る見込みである。

阪莖幹事より「公益社団法人を申請する時期について事務局に聞きたい。個人的には可及的速やかに申請するべきと考える」との意見が示された。

荒木事務局長「8月4日付の申請を考えていたが、申請書が万端整ったため理事長、両副理事長、岩下常務理事等の了承のもと7月29日付で電子申請した」

〔II. 官庁関係〕

(1) 文部科学省

①文部科学省の実地検査が7月9日に行われた。[資料：総務2]

②研究振興局ライフサイエンス課より臨床研究に関する倫理指針質疑応答集(Q&A)の改正について通知があり、周知徹底方依頼があった。については機関誌に掲載したい。[資料：総務3]

(2) 厚生労働省

①医薬食品局より「新鮮凍結血漿の適正使用の推進について」の通知を受領した。会員に周知方依頼があり、機関誌に掲載したい。[資料：総務4]

〔III. 関連団体〕

(1) 日本医師会

①日本医師会より「平成21年度女子医学生、研修医等をサポートするための会」を日本医師会との共催で開催して欲しいとの依頼があった。上限30万円の費用補助がある。(日本医師会への申請期限：平成21年12月24日、開催期限：平成22年3月7日) [資料：総務5]

(2) 医療安全全国共同行動推進会議

①医療安全全国共同行動推進会議より「医療安全全国共同行動への参加のお願い」の通知を受領した。回答については医療事故に関わる諸問題検討ワーキンググループに検討をお願いしたい。[資料：総務6]

以上総務報告事項については、特に異議なく了承した。

2) 会 計 (和氣徳夫副理事長)

特になし

3) 学 術 (吉川裕之理事)

(1) 学術委員会

①他団体特別賞推薦依頼について

(イ) 神澤医学賞

各理事、学術委員会委員に推薦を依頼した結果、候補者として園田顕三会員の推薦を受けた。通信で選考を行う。

(ロ) 朝日賞

各理事、学術委員会委員に推薦を依頼した(推薦締切:8月10日)。候補者が推薦された場合、通信で選考を行う予定である。

(2) ガイドライン—産科編委員会

①「産婦人科診療ガイドライン」頒布状況について

7月14日現在、入金済10,856冊、後払希望13冊。

②第2回ガイドライン—産科編委員会を9月4日に開催する予定である。

(3) ガイドライン—婦人科外来編委員会

①第2回委員会を7月19日、第3回委員会を8月1日に開催する予定である。

以上学術報告事項については、特に異議なく了承した。

4) 編 集 (岡井 崇理事)

(1) 会議開催

①7月 JOGR 編集会議、和文誌編集会議を7月10日に開催した。

(2) 英文機関誌 (JOGR) 投稿状況:2009年投稿分(6月末現在)

投稿数365編(うちAccept8編、Reject134編、Withdrawn/Unsubmitted44編、Under Revision61編、Under Review112編、Pending6編、Expired0編)

以上編集報告事項については、特に異議なく了承した。

5) 渉 外 (落合和徳副理事長)

[FIGO関係]

(1) 10月6日、8日に開催のFIGO General Assembly 2009に、本会より落合副理事長、丸尾監事、嘉村理事、杉浦理事(以上4名投票権行使)、および吉川裕之理事、平原理事(以上2名投票権無し)が出席の予定である。

[その他]

(1) 以下の海外学会・研修会について、本会HP「海外学会・研修会スケジュール」に掲載した。

①18TH SLS ANNUAL MEETING AND ENDO EXPO 2009(9月9~12日、BOSTON, MASSACHUSETTS)

②1st European Symposium in Robotic Gynaecological Surgery(9月16~19日、ミラノ)

③RCOG によるイベント” The Challenges of MDGs 4 and 5 Reducing Maternal and Newborn Mortality and Morbidity” (10月4日、ケープタウン)

④The 3rd Asia Pacific Congress on Controversies in Obstetrics, Gynecology & Infertility (COGI) (11月12～15日、北京)、および同学会にて開催されるAFOGによるセッション” Polycystic Ovarian Syndrome (PCOS) in the Asia-Pacific Region”

以上渉外報告事項については、特に異議なく了承した。

6) 社 保 (星合 昊理事)

(1) 会議開催

①第2回社保委員会を9月11日に開催する予定である。

(2) 厚生労働省より「医療上の必要性が高い未承認の医薬品又は適応の開発の要望に関する意見募集について」の依頼があり、社保委員会で協議の結果、天然型プロゲステロンの導入、およびソナゾイド注射用(第一三共)の適応拡大(子宮卵管エコー図検査における造影)を要望することとなった。

[資料: 社保1]

(3) 厚生労働省医療技術評価のヒアリングに関する事前アンケート調査が行われ、本会は8月末のヒアリング日程を希望、提出済みの要望項目のうち、「帝王切開手術1. 選択」、および「子宮悪性腫瘍手術」の改正を特に説明、要望する旨回答した。

以上社保報告事項については、特に異議なく了承した。

7) 専門医制度 (櫻木範明理事)

(1) 会議開催

①平成21年度専門医認定二次審査筆記試験問題評価委員会を8月27日に開催する予定である。

(2) 平成21年度専門医認定二次審査

東京会場(都市センター)と大阪会場(千里ライフサイエンスセンター)で、8月1日に筆記試験、2日に面接試験を実施する。

(3) 8月上旬に平成21年度研修手帳注文書を卒後研修指導責任医宛に送付する。

(4) 日本専門医制評価・認定機構より厚生労働省専門医制度推進支援事業ワーキンググループのメンバーとして本会から金内優典先生が参加するとの通知があった。 [資料: 専門医制度1]

以上専門医制度報告事項については、特に異議なく了承した。

8) 倫理委員会 (嘉村敏治委員長)

(1) 本会の見解に基づく諸登録 (平成21年6月30日)

①ヒト精子・卵子・受精卵を取り扱う研究に関する登録: 45 研究

②体外受精・胚移植の臨床実施に関する登録: 617 施設

③ヒト胚および卵子の凍結保存と移植に関する登録: 617 施設

④顕微授精に関する登録: 497 施設

⑤非配偶者間人工授精に関する登録: 16 施設

(2) 着床前診断に関する臨床研究申請・認可について

申請件数: 127 例[承認 111 例、非承認 4 例、審査対象外 11 例、照会中 0 例、取り下げ 1 例]

(承認 111 例のうち 3 例は条件付)

(3) 会議開催

- ①第 3 回登録・調査小委員会を 7 月 22 日に開催する予定である。
- ②第 2 回着床前診断に関するワーキンググループを 7 月 28 日に開催する予定である。

以上倫理委員会報告事項については、特に異議なく了承した。

9) 教育 (小西郁生理事)

(1) 会議開催

- ①「第 2 回若手医師による企画」委員会 (第 2 回) を 7 月 10 日に開催した。

(2) 「産婦人科研修の必修知識 2007」頒布状況について

7 月 14 日現在、入金済 3,885 冊、校費支払のため後払希望 46 冊、購入依頼 2 冊。

(3) 平成 21 年度専門医認定筆記試験問題を作成し、専門医制度委員会に提出した。(7 月 2 日)

以上教育報告事項については、特に異議なく了承した。

10) 地方連絡委員会 (和氣徳夫委員長)

特になし

II. 理事会内委員会報告並びに関連協議事項

1) 広報委員会 (吉川史隆委員長)

(1) 会議開催

- ①広報委員会・情報処理小委員会第 2 回合同委員会を 9 月 11 日に開催する予定である。

(2) JOB-NET 公募情報について [資料：広報 1]

(3) ACOG Website 会員専用ページログイン可能人数について

- ①ログイン可能人数について [資料：広報 2]

②ACOG Electronic Membership 契約期間が 7 月末日で終了するが、8 月 1 日から 1 年間、前年同様の条件による契約更新を ACOG に依頼し、承認された。

(4) ホームページアクセス状況について [資料：広報 3]

(5) グラクソ・スミスクライン(株)のバナー広告について、7 月 1 ヶ月間の延長が決定した。

以上広報委員会報告事項については、特に異議なく了承した。

2) コンプライアンス委員会 (平松祐司委員長)

特になし

3) 医療改革委員会 (海野信也委員長)

- (1) 産科医不足関連記事 [資料：医療改革 1]

以上医療改革委員会報告事項については、特に異議なく了承した。

4) 男女共同参画委員会（竹下俊行委員長）

(1) 女性の健康週間委員会

① 地方部会担当公開講座について[資料：男女共同参画1]

(2) 厚生労働科学研究費補助金特別研究事業 病院勤務医等の勤務環境改善に関する研究「女性医師就労支援事例の収集・検討」分担研究者安達知子先生より「妊娠・出産・育児中の女性医師が働きやすい職場づくり」のパンフレットを受領した。[資料：男女共同参画2]

以上男女共同参画委員会報告事項については、特に異議なく了承した。

5) 若手育成委員会（齋藤滋委員長）

(1) サマースクール応募状況（6月30日現在）

300名 [学部5年生47名（男12名・女35名）、学部6年生40名（男14名・女26名）、初期1年目72名（男30名・女42名）、初期2年目139名（男40名・女99名）、後期研修医2名（女2名）]

6月30日で応募を締め切ったが、定員200名に対し応募は300名に達した。7月3日に若手育成委員会を開催し全員を受け入れるためプログラムを組み直し、初期研修医と学生のプログラムの充実を図る予定である。

7月10日現在キャンセル待ち：3名（初期2年目男2名・女1名）

来年のサマースクールに関しては応募方法・募集定員等を含め検討していく。

阪埜幹事より「サマースクールは嬉しい悲鳴であるが、300名となると学生と研修医を分けるとか、地域別など検討が必要かもしれない。個人的には年1回1ヵ所の開催だから先生方の情熱の温度差も少ないのではないかと思う。勧誘という観点からは医学部5年生は未だ早いのではないか。予算措置の見直しは必要と思う」との意見が示された。

岩下理事より「サマースクールは地方からは学生参加の要望が強いが、300名を超える参加希望者を考慮し、来年度は初期研修医のみか、学生は時期や会場を変えて行うかのどちらかにすべきと思う」との意見が示された。

若手育成委員会報告事項については、特に異議なく了承した。

以上